

三智創造

湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活（れいわしょうかつ）』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文

令和2年12月24日①

【「忍耐」の一年、よく我慢しました】

開校して一年半が過ぎました。年度当初には二年目となって昨年度よりは大幅にゆとりのできる日々が送れるものと思っていましたが、新型コロナウイルスへの対応のために昨年以上に厳しい生活を送った一年となりました。生徒数約450人・職員50人、中部地区最大の中学校で約500人の大切な命をあずかる中、毎朝のニュースや新聞で新型コロナの感染者数を見ながら、まずは県内の感染者がないようにと祈る日々が続いています。

現在では、近県でも感染者が急激に増えている緊急事態が起こっている地域があり、この冬休みでも県外への旅行や大会・合宿等に対しては適切な判断と十二分な対応を取る必要があります。「修学旅行を中止にしてまで、生徒や保護者・町民の方々の命を守ってきたこと」を思い出してください。特に3年生はすでに受験が始まっており、一番心配しているのは東京や大阪等の大都市圏だけでなく、お隣の兵庫・岡山・広島県あたりも非常事態を宣言するほど現在は大変な感染状況となっているということです。鳥取県内でも増えてきているところで、島根県の高校でも起こったようなクラスターがいつかは県内でも起こるのではないかと大変心配しています。万が一、そうしたことが起これば、今までのような「当たり前前生活」は一変します。勉強や部活動だけでなく、家族や友だちとのごく普通の生活さえできなくなります。

運動部の新人戦等で好成績を残し、県外遠征や各種大会や合宿に参加する権利を得ながら、今年に限っては仲間や家族、そして自分自身を守るために「残念な思いをこらえながら参加を踏みとどまっている選手たち」「旅行や故郷への帰省等、この時期の最大の楽しみをグッとこらえて耐えて我慢しておられる方々」がたくさんあることを忘れることなく、これからの12日間を過ごしてほしいと思います。

今年は大きな行事を見直して縮小、まさに我慢・辛抱の一年でした。こうした仕事をする中で、閉校・開校を経験する教職員もほとんどいない中、引き続きこのような大変な一年間を過ごすことになるとは夢にも思いませんでした。今年は、皆さんもさまざまなことに対して「忍耐の一年」だったと思います。世界中に新型コロナウイルスのワクチンが行き渡り、生活が落ち着くまでもうしばらく我慢の日々が続きそうです。他県の中学・高校では運動会や文化祭等の行事が全て中止となり、卒業アルバムの写真が揃わない学校も多いようで、自分たちで企画して教室や校内で写真撮影をして、アルバムに掲載しようとしている学校もあるそうです。

そうした中でも湯梨浜中の校内では、「新型コロナどこ吹く風？」という感じで生徒たちは元気よく学校生活を送っています。先日は、校長室の掃除をしながら「明日の給食は肉団子とキムチ汁！」というような会話をする3年生の乙女たちがいるくらい平和な日々が続いています。部活動ではどの部もしっかりと活動し、地道な活動を続けました。全体的には落ち着いて学習に取り組んで、人の話をきちんと顔をあげて聞ける態度が定着しています。本当に嬉しい光景です。

また、12月2日の生徒会選挙では1・2年生が「生徒会長に8名・副会長に9名」も立候補し、庶務には数十人が立候補したことには大変驚きました。これこそ生徒主役の学校づくりが進んできた証で、委員会活動や運動会・文化祭等の行事に生徒たち自ら積極的に取り組んだ「礼輪笑活」の充実



『生徒会選挙』

した2学期でした。年が明ければ1・2年生はすぐに2・3年生へ進級します。この時期は、心身ともに急成長する思春期で身体の急激な変化に悩んだり、心が大きく揺れ動くことが増えます。親や先生、友だちと意見がぶつかり合ったり、ささいなことに腹が立ったり、テストの点数や成績が思うように伸びずに悩んだりすることもあるでしょう。そんな中、1年生のある学級では「学級のポスト」なるものが設置されているようで、「クラスをよくするために」「こんなことで悩んでいる」という級友たちの声を大切にしている取り組みをしているそうです。こうした取り組みから学級の雰囲気良くなって、楽しいと感じることも増えたり、全力で取り組んだ後の達成感を味わったり、色々な体験が自分の心身の栄養となる時期でもあります。

3年生は、自分の将来に関わる大切な「節目」を迎えています。この節目を『自分が一回りも二回りも大きく成長する絶好のチャンス!』と信じて、真正面からぶつかってほしいと思います。これからも寒さに負けず、新型コロナウイルスやインフルエンザに感染することのないようお互いに十分気をつけて、良い年を迎えましょう。



《1年「社会人に学ぶ」》



《2年生「学年企画」》



《3年生「GOTO湯梨浜」》

【入選・入賞者続出!】

日々、地道に活動をしている文化部の部員等の作品が入賞作品として選ばれています。

- ① 国土交通省の『河川愛護月間』 美術部2年生
絵手紙部門 審査員特別賞 美術部2年生
- ② 中学生「税についての習字・作文コンクール」 ・湯梨浜町長賞 3年生
・中部会長賞 1年生2名 ・倉吉支部長賞 1年生 ・倉吉法人会長賞 1年生
- ③鳥取県「心の輪を広げる体験作文」 ・中学生最優秀賞 1年生
- ④交通安全作文 ・佳作 2年生2名
- ⑤鳥取県青少年読書感想文 ・優良賞 2年生
- ⑥JA共通書道コンクール ・銀賞 3年生
- ⑦ジュニア県展「書道の部」 ・奨励賞 3年生 ・入選 3年生1名、2年生1名
- ⑧鳥取県中学生科学研究発表会 ・県教育長賞 科学部
- ⑨「43回 アンサンブルコンテスト県大会」 吹奏楽部 ・銅賞 管打5重奏
- ⑩「いじめ・非行・防犯防止標語、中学校犯罪防止の部」 ・優秀賞 1年生



【毎年ありがとうございます】

今年も倉吉農業高校の生徒さんに、とても立派な門松を設置していただきました。雪の降るとても寒い中でしたが、担当の先生と2名の生徒さんがわざわざ運んで設置してくださいました。専門家が作成したようなすばらしい作品です。お陰さまで、また良い年が迎えられます。

《最近のお昼の曲》 ・ハッピークリスマス (War is Over) ・Yesterday (ビートルズ) ・Last Christmas ・恋人がサンタクロース
○最近では生徒たちからリクエストも入るようになりました。とても嬉しいことです。